

2026 年 9 月 17 日
九州電力株式会社

非化石証書の販売収入を非化石電源の維持に活用しました
— 2025 年度非化石証書販売収入の使途をお知らせします —

当社は、再生可能エネルギー（以下、再エネ）の導入拡大や原子力発電の安全・安定運転等により、全国トップクラスの非化石電源（再エネ、原子力発電等）比率を有しています。

これらの非化石電源の発電により生じる非化石証書については、他小売電気事業者のエネルギー供給構造高度化法^(注)の目標達成を後押しするため、積極的に販売しており、2025 年度は 223 億円の収入を得ることができました。その収入は水力発電所の更新工事、維持管理及び原子力発電所の安全対策工事等、非化石電源の維持のために全て活用したのでお知らせします。

（注）エネルギー供給構造高度化法では、小売電気事業者に 2030 年度に調達する電源の非化石電源比率を 44%以上にすることを義務付け。2020 年度から中間目標が設定され、目標達成の手段として、非化石証書の取引が開始された。

九電グループは今後も、カーボンニュートラル社会の実現に向け、非化石価値の提供と非化石電源への投資の循環を促進することで、九州から日本の脱炭素をリードする企業グループを目指します。

非化石証書販売収入の活用先の例



上椎葉発電所（宮崎県）



川内原子力発電所（鹿児島県）

以 上


ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九電グループの思いです。